

ひたすら撮つて、

出版する

ワークシヨツプ

4月17日

スタート

受講生募集中

会社員を続けながらでも
写真家は目指せる！
「本業」があつても、
写真家としての
自分を確立できる！

写真家になる第一歩は、たくさん撮ること、

そして作品を世の中に入リリースすること。

電子書籍なら、自分の労力だけで

多くの人に見てもらうことが可能です。

写真集は、自分の作品を見つめ直し、

次のステージへ押し上げてくれる重要なもの。

個性を磨き、世界へ売り出すために

必要なこと——ソフトの使い方、

宣伝・拡散の方法、SNSの効果的な活用法を
ぜひプロに学んでください。

[こんなことをやります]

◎たくさん撮る

◎講師やクラスメイトに見せて意見・感想・講評をもらいつ

◎電子マーケットで自分をどう打ち出していいたらいいのか考える

◎ブログやFacebook・Flickr・Instagramなどに写真をアップ。

ひとりでも多くの人に写真を見てもうえるようSNSを活用し、
宣伝。不特定多数の反応を検討材料へ

◎電子書籍(Kindle)1冊目作成へ。フォーマットを使った作成方
法を学ぶのと並行して、今まで撮りためた写真の中から本に掲載
するものをセレクト

◎Kindleで写真集を販売。どうやつたら1冊でも多く売れるのか、
ひとりでも多くの人に知つてもらえるか各自実験

◎1冊目の写真集を「写真編集者などの『写真のプロフェッショナル』に見てもらい講評をもらつ

◎タイトルのつけ方、写真を活かす文章の書き方を学ぶ

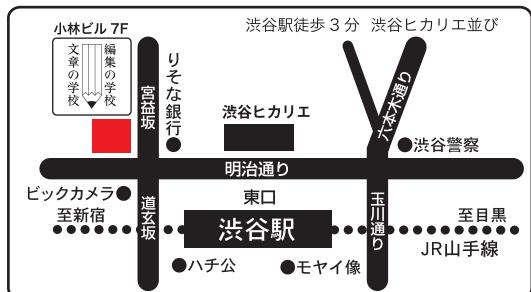
*カメラの使い方や絞り、シャッタースピード、露出補正などの撮影の技術的な
方法を学ぶ講義はありません。



《受講申込・お問い合わせ》

編集の学校／文章の学校

〒150-0002 渋谷区渋谷 1-14-11 小林ビル 7F
Tel:03-3400-7474 Fax:03-3400-4545
info@editorschool.jp
<http://www.editorschool.jp/>
twitter:@henshunogakkou



[開講日]
2014年4月17日(木) 開講
[曜日・時間]
毎週木曜
19:00~21:00 全20回
*祝祭日・GW・夏期除
[定員] 20名

[会場] 編集の学校／文章の学校

[受講料] プロカメラマンコース受講生・修了生には特別価格を用意しました。

(入学金 10,000円/授業料 132,000円/資料代 10,000円)

合計 152,000円(税込)

*分割(教育ローン)支払いもご用意しています。

*当校や姉妹校「写真の学校／東京写真学園」の受講生・修了生は入学金不要。

*「写真の学校／東京写真学園」の2014年4月期「プロカメラマンコース本科」「プロカメラマンコース総合科」

お申し込みの方や、同コース受講生・修了生は30,000円引きの特別価格122,000円で受講できます。

撮つたら出版! 電子書籍講座 | 初級編 出し続けたい 人のための 写真集を

半年間で写真集を2冊出版。写真を電子書籍フォーマットに並べて販売するだけではありません。

「売る・広く知ってもらう」ことを重要視します。

1冊目発売後、マーケットでの読者の反応や売れ行きを見て新たに企画・写真のセレクトをおこない2冊目を出版します。

【講師紹介(五十音順)】



プロガー/ライター/
IT広報アドバイザー
いしたにまさき
ishitani masaki



フォトグラファー/
ライター
「住宅都市整備公団」総裁
大山頭
ooyama ken



写真家/
東京工芸大学芸術学部写真学科教授
小林紀晴
kobayashi kisei

ソーシャルメディア界の第一人者。2011年アルファブロガー・アワード受賞。webサービス・ネット・ガジェットを紹介する考古学的レビュー「みたいもん!」を運営。02年メディア芸術祭特別賞、第5回webクリエイションアワードweb人エニット賞受賞。写真にも造詣が深く、自身で撮影もする他、2013年全米デビューを果たした写真がすぐされる「とれるカメラバッグ」の開発販売も。共著『Amazon Kindle ダイレクト出版』『Evernote オールインワンガイド』『Google+スマートに使いこなす基本&活用ワザ70』『楽しいみんなの写真』とにかく撮る、Flickrで見る。ソーシャルメディア時代の写真の撮り方・楽しみ方』など。
<http://mitaimon.cocolog-nifty.com/>
<https://twitter.com/masakiishitani>



「Amazon Kindle ダイレクト出版」(インプレスジャパン)
「楽しいみんなの写真」ととにかく撮る、flickrで見る。」(BNN新社)
「クチコミの技術」(日経BP社)

松下電器株式会社(現Panasonic)入社。シンクタンク部門に10年勤務後、フォトグラファーとして独立。千葉県の準工業地域に囲まれ育ち、子どもの頃から工場や工事現場が遊び場に。学生時代から、工場や団地の写真を撮り始める。大学の論文テーマは「工場構造物のコンバージョン提案」。団地、ジャンクション、工場など、「ヤバ景」(一般的には悪い景観だと揶揄されているが、よく見るとおもしろい風景)に造詣が深い。団地マニアのサイト「住宅都市整備公団」総裁。ジャンキー(ジャンクション好きの人々)のためのサイト「日本ジャンクション公園」なども運営。主な著書に大ヒットした『工場萌え』『団地の見究』『団地さん』『高架下建築』、共著に『団地団』『ドボク・サミット』『楽しいみんなの写真』など。これから新しい写真のあり方を提唱。<http://www.ohyamaken.com/>
<http://danchidanchi.com/>



新聞社にカメラマンとして入社。23歳で、アジア6カ国旅へ。95年初著『アジアン・ジャパニーズ』を発売。同年『DAYS ASIA』で日本写真協会新人賞受賞。2000~02年NYへ。2013年日本の各地で伝わる祭りや神事を撮った「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。写真集・著作は『SUWA』『父の感触』『はなはねに』『KEMONOMICHI』『写真と生活』『メモワール写真家・古屋誠一との二〇年』など40冊以上。その他、『Number』『週刊文春』『STORY』『EVERY』『anan』『SWITCH』などの雑誌、キリンビール(ボスター)、JR東日本(ボスター)、中吊り、新聞広告)、王子ネビア(ボスター)、パッケージ、朝日新聞(ボスター)、カゴメ(健康直送便CM)、グリコ乳業、ECCジュニア(TVCM)などの広告を手掛ける。
<http://www.kobayashikisei.com/>



『DAYS ASIA』(情報センター出版局)
『Life1986-2002』(スイッチ・パブリッシング)
『kemonomichi』(冬青社)

■カリキュラム

2つの柱を軸に講義を構成します。

①「電子・webマーケットの特性を活かす」

電子書籍の作成方法などを学び、Kindleで自分の写真集を出版。SNSを有効活用し、情報の出し方や宣伝活動、売上を伸ばす方法を学びます。ネット特有の時間の流れや話題となるもの、ヒットしているものなど電子マーケット事情にも言及。

②「いい写真・魅力的な写真であるために」

写真を専門とする編集者やデザイナーが、電子なのか紙なのか以前の問題である「いい写真とは何か」「自分はどんな写真を撮ればいいのか」を掘り下げて考える講座を実施。将来、紙での出版を目指す方にも有益な内容です。



株式会社ツナガリ代表/
元『コマーシャル・フォト』編集長
坂田大作
sakata daisaku

写真と映像のプロ向けWEBマガジン『SHOOTING』編集長の他、写真・映像などの情報発信、写真家・アーティストのマネージメント、写真展プロデュース、フォトディレクション、企業のイメージビジュアルなども。
<http://tsunagari.co.jp/>
<http://shooting-mag.jp/>



写真専門webマガジン『SHOOTING』
『商品撮影ライティング』(玄光社)
『カラーネガプリント』(玄光社)



フォトグラファー
杉山宣嗣
sugiyama nobutugu

人物・ファッショントークを中心とした広告・雑誌・写真集・写真展等で活躍。書籍版写真集はもとより、CD-ROM写真集、iOS/Androidアプリ写真集、電子書籍写真集など時代に先駆け発表し、2011~12年に発表したiOS/Androidアプリ写真集「COSPLAY SHOW CASE」は書籍写真集としても発売。他、著書『Kindleで写真集を出そう!』がアマゾンの売上ランキングで1位に。(社)日本廣告写真家協会会員。
<http://www.nsp-jp.com/>



『Kindleで写真集を出そう!』(Kindle版)
『COSPLAY SHOWCASE』(玄光社)
『PAST DAYS』(Kindle版)